

ギリシア神話

監修 学習院大学教授
吉田敦彦

5

大神ゼウスは人間の女性と一夜を共にしてひとりの英雄を生み出させました。その名はヘラクレス。しかしそれを快く思わないゼウスのきさきヘラはヘラクレスに子殺しの罪を着せます。その罪をつぐなうため、ヘラクレスは叔父のエウリュステウス王が命する三の試験に立ち向かわねばならなくなつたのです。



ヘラクレスの12の手から



まんがギリシア神話 第5巻

ヘラクレスの12の手がら

監修／吉田敦彦（学習院大学教授）

指導協力／藤井常義（サンシャインプラネタリウム館長）

シナリオ／亜仁真 作画／平松 修

作画協力／手塚プロダクション

カバーイラスト／クリエイティブアートリュウ

装丁・本文レイアウト／海野幸裕

図版／E出版社

写真協力／オリオンプレス

西條善弘

サンセット

美宝社

ワールドフォト・サービス

編集協力／株式会社 童夢

1992年3月15日 初版発行

定価2000円（本体1942円）送料310円

発行所／株式会社 きょうせい

本社／〒104東京都中央区銀座7-4-12

営業所／〒162東京都新宿区西五軒町4-2

電話 03-3268-2141（大代表）

振替口座 東京4-10,000番

印刷／凸版印刷株式会社

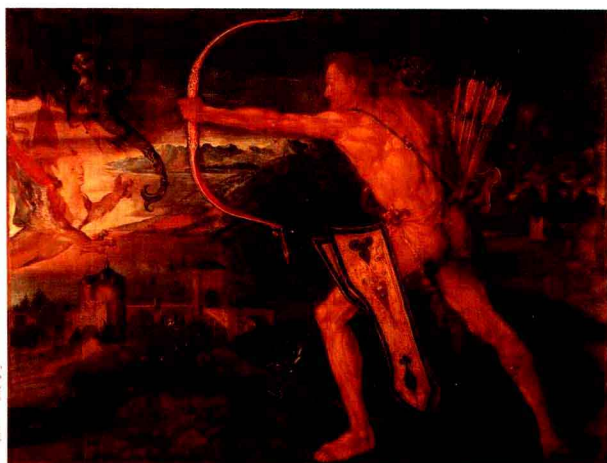
製本／大口製本印刷株式会社

©1992 Printed in Japan

ISBN4-324-02830-3

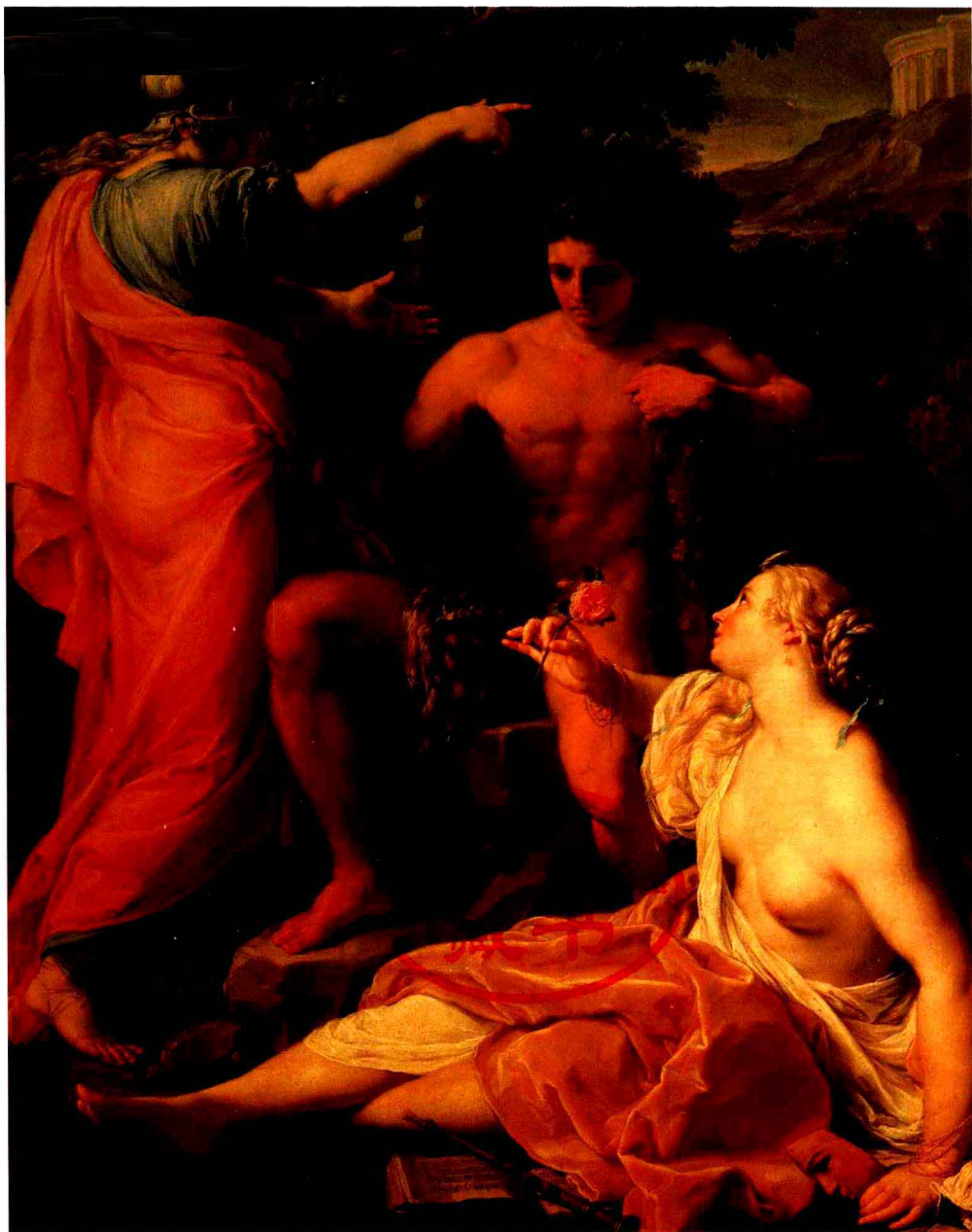
（3100319-01-005）

乱丁・落丁本はおとりかえいたします。



◆ステュンパロスの怪鳥と闘う
ヘラクレス／デューラー
ステュンパロス湖には、ステ
ュンパリデスという人食い鳥が
たくさん住みついていた。
ヘラクレスは、女神アテナから
もらった鳥追い用のガラガラを
使ってこの鳥たちを追い出し、
片っぱしから毒矢で射殺したの
です。

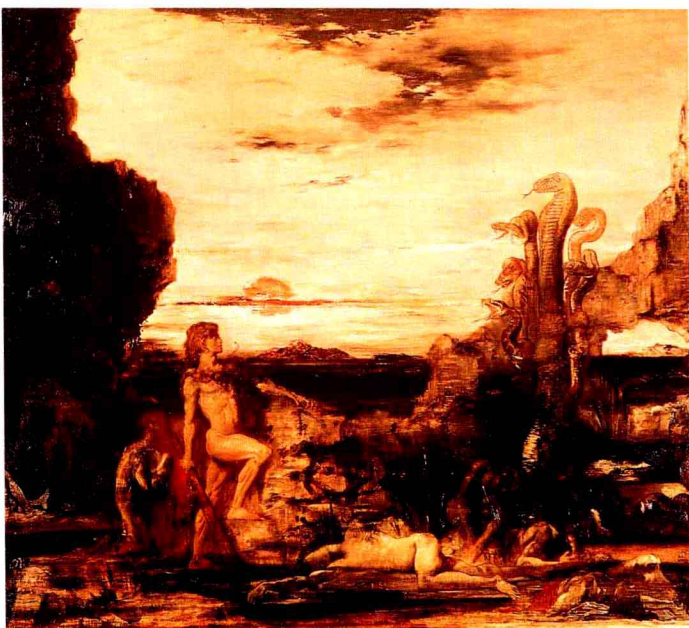
神話と美術



◆別れ道のヘラクレス／バトー
青年ヘラクレスは、ある日別れ道で、ふたりの女性と出会います。ひとり胸をはだけた、「快楽」。もうひとは厳しい表情をした「義務」でした。ヘラクレスは快楽のほうへ近寄ろうとしますが、人びとを助けたのちにあたえられる栄誉のほうが大切と考え、義務の道を選ぶのです。

◆天の川の起源／ティントレット

女神ヘラが赤んぼうのヘラクレスに乳をあたえている時、ヘラクレスがあまりにも強く吸いすぎたため、乳が天にほとぼしってしまいました。この乳が、夜空にかかる天の川になったといわれています。そして、天の川は英語でミルクウェイ（乳の道）とよばれています。



◆ヘラクレスとレルネのヒュドラ／モロ

レルネの沼にすんでいたヒュドラは、頭が九つある蛇の怪物で、おそろしい猛毒を持っています。ヒュドラ退治を命じられたヘラクレスは、甥のイオラオスの助けを借りて、ようやくこの怪物を封じこめることに成功したのです。



◆ケルペロスから身をかくすウリュステウス

ティリュシスの王エウリュステウスは、ヘラクレスに一二の試験をあたえます。そして最後の試験は、死者の国・冥界の番犬で、頭の三つあるケルペロスを生けどりにしてくることでした。到底不可能と思われたこの難業も、ヘラクレスは見事やりとげたのです。



◆弓を引くヘラクレス

この彫像は、現在のギリシアの首都アテネの近くにある、アイギナ島の神殿跡から出土しました。普通の兵士の像では、それがだれであるか、わかりづらいのですが、ヘラクレスの場合、その獅子（ライオン）のかぶとから、はっきりと名前がわかるのです。



◆蛇をつかむ赤んぼうのヘラクレス

ヘラクレスをにくむ女神ヘラは、ある日毒蛇をおくりこみまします。しかしヘラクレスは、まだ赤んぼつであるにもかかわらず、その蛇をつかんで笑っているのです。この姿を見たヘラクレスの育ての父は、彼こそ神の子にちがいないと、さとするのです。

まんが ギリシア神話

5

ヘラクレスの
12の手がら

シナリオ 亜仁真
作画 平松 修



はじめに

ギリシア神話とか、ギリシア・ローマ神話とよばれている、たくさんのおもしろい物語があることを、あなた方は、きつともう、どこかで聞くか読むかしてござんじでしょう。黄金の光でまぶしくかがやく美青年のアポロン神や、海に浮かぶあわのなかで誕生した美の女神アフロデイトなど、多くの神様たち、また、怪力で乱暴なところもあるヘラクレスや、勇猛果敢なアキレウスなど、大勢の英雄たちが出てきて、さまざまな不思議な冒険や恋、戦争などで活躍をします。そしてこれらの物語のもとになった話は、今から二〇〇〇年以上も前に、古代のギリシア人が語っていたものでした。

今から二四〇〇年から二五〇〇年くらい前に、ギリシア人たちは、文学や美術をはじめとする学問や、技術など、すべての点で今のヨーロッパやアメリカの文化のもとになった、本当にすばらしい文化を作り上げました。それを、「ギリシアの奇跡」とよんだ人もいます。

この古代ギリシア文化は、今から二三〇〇年くらい前に、有名なアレクサンドロス大王がした遠征によって、今のトルコやエジプト、イスラエル、シリア、レバノンから、イラク、イラン、アフガニスタン、パキスタンなどにまでまたがる、広い地域に伝えられました。そしてその文化は、今から二〇〇〇年くらい前にローマ帝国を作った、古代のローマ人たちにも、そっくりそのまま受けつがれたのです。

古代のローマ人が使っていた言葉は、ラテン語といって、ギリシア語とは別の言葉でした。しかしローマ人たちは、ギリシアの文化

のすばらしさにあこがれて、その魅力^{みりょく}のとりこになりました。そしてローマ人たちは、美術や文学、哲学^{てうがく}やそのほかの学問でもギリシアのものを模範^{もはん}と考えたのです。さらにローマ人たちは、ギリシア人が持っていた神話も、ただ神様などの名前の大部分を、ギリシア語からラテン語の呼び方に変えただけで、そっくりそのまま自分たちのものにしてしまったのです。

このようにローマ人によっても、自分たちの神話だと考えられ、ギリシア語だけでなく、ラテン語でも語られるようになった、古代ギリシア人の神話のことを、ギリシア・ローマ神話とよんでいるのです。そのため、そのなかでは、ちよつとやっかいなことです。多くの神様や英雄^{えいゆう}たちは、ギリシア語とラテン語のふた通りの、別の名前を持っています。本書で使っているのは、全部、もとのギリシア語の名前のほうです。

ギリシア・ローマ神話は、その後ヨーロッパの文化のなかにも、受けつがれました。ヨーロッパやアメリカの人たちは、今でもギリシア・ローマ神話を、キリスト教と共に自分たちの文化の土台になった、とても貴重な財産と考えて、大切にしています。

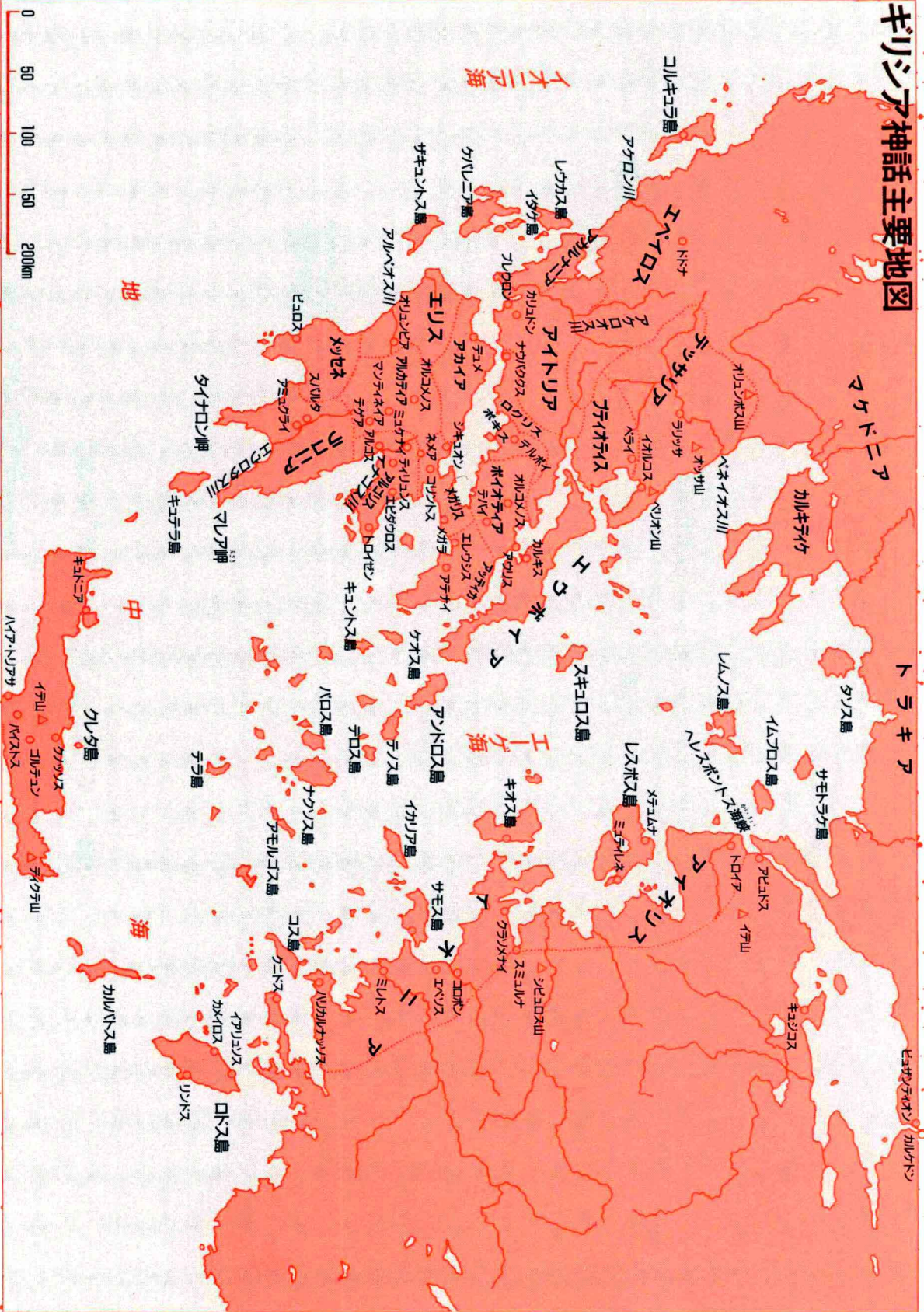
美術をはじめ、文学や音楽あるいは映画など、芸術のどの分野でも、ギリシア・ローマ神話を新しくえがいたり、物語ったり、またそれからヒントを得たりした作品が、ヨーロッパでは昔から多く作られてきましたし、今もヨーロッパやアメリカで、たくさん作られています。そして下じきにされたギリシア・ローマ神話の物語を知らないままで、これらの名画や名曲、名作を鑑賞^{かんしやう}しようとする、わたしたちはしばしば、それこそまるで、くつの上から足のかゆいところをかいていいるような、物足りなさともどかしさを、感じさせられてしまいます。

それだけではありません。一九六九年に初めて人間を乗せて月に着陸したロケットの名前が、アポロ一号だったことを、ごぞんじの人も多いでしょう。この名前はもちろん、初めにあげたハンサムな光と芸術の神、アポロンにちなんでつけられたものです。アメリカやヨーロッパで作られる品物には、このほかにも、乗り物や兵器から日用品にいたるまで、ギリシア・ローマ神話の神様や英雄の名前をつけられたものが、たくさんあります。これはもちろん、ヨーロッパやアメリカでは今でも、そのような名前のついた品物が、だれにでも自然に、神話の神様や英雄のようにすばらしく魅力的であったり、強力であるように感じられてしまうからであるにちがいません。このことから、ギリシア・ローマ神話が今もヨーロッパやアメリカの人たちにとっても愛され、自分たちの神話として大切にされて、本当になじみの深いものであり続けていることが、よくわかります。

こうしたことから、ヨーロッパやアメリカの人たちの文化と、ものの考え方をよく理解しようとする、わたしたちはどうしてもギリシア・ローマ神話を知る必要があるのです。この本は物語をよりわかりやすくするために、「まんが」という形式をとりました。話を視覚化することによって、おとなだけでなく、小・中学生にも入りこみやすいものになっています。さらに本書は、ギリシア神話をくわしく正確に見せ、語っており、信頼できる手引きとなっています。これを持って、すばらしい未知の世界発見の旅に出て、ギリシア神話通になってください。

(学習院大学教授吉田敦彦)

ギリシア神話主要地図



ヘラクレスの二の手がら 目次

神話と美術 1

はじめに 6

第二章 英雄誕生 12

【メモ】ヘラクレスの誕生と天の川 29

第三章 三の試練(前) 53

【メモ】ケイロン 80

第三章 二の試練(後)

三ノム アマゾン族

122

93

第四章

神になつた英雄えいゆう

三ノム ヘラクレスの子孫たち

187

151

神話と星座

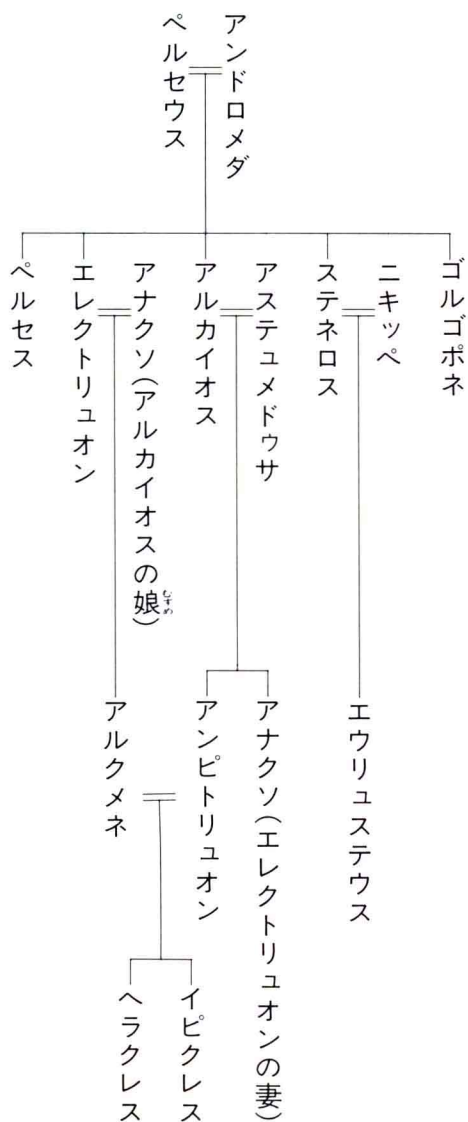
190

神話と文学

195

英雄誕生

ペルセウス一族の系図



ティリユンスと
ミュケナイを
治めた英雄
ペルセウスには
何人かの子供が
いました。
そのうち
エレクトリオンは
ミュケナイの王に、
ステネロスは
ティリユンスの
王になりました。

ペルセウス



しかし――。

アルクメネ

アンピトリュオン

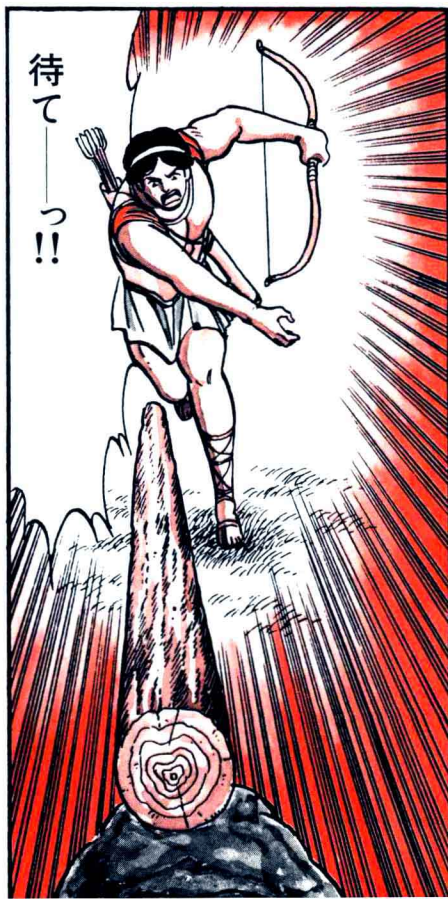
また、アルカイオスの息子アンピトリュオンとエレクトリュオンの娘アルクメネは結婚の約束をかわしていました。

そのうちの一匹の牝牛にげられてしまったのです。

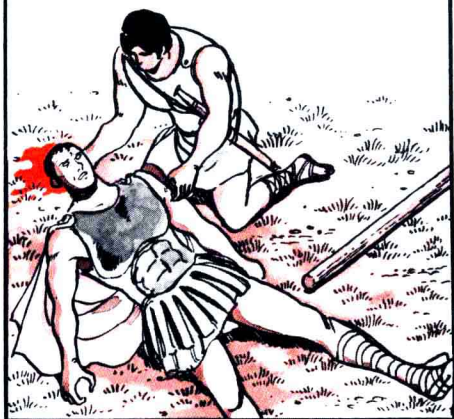
そのころミューケナイではタポス島の人びととの争いが始まっていました。そして戦いのあとアンピトリュオンはタポス島の兵にぬすまれた牛をとり返してきたのですが、



待て――っ!!



アンピトリュオンは
過あやまって叔父の
エレクトリュオン王を
殺してしまいました。

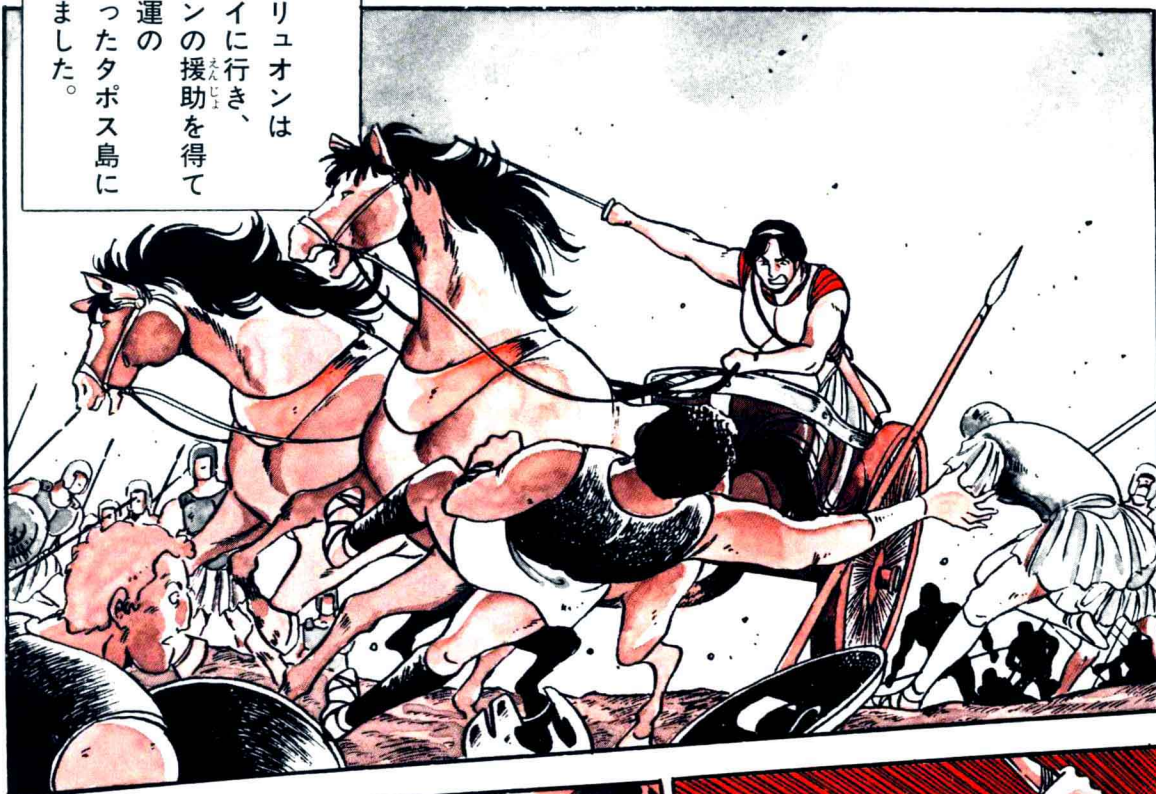


この近親殺しの
罪により、
アンピトリュオンと
アルクメネは
叔父ステネロスによって
ミュケナイから
追われてしまった
のです。





その後
アンピトリュオンは
都市テバイに行き、
王クレオンの援助を得て
自分の不運の
もととなったタポス島に
攻め入りました。



そして
アンピトリュオンは戦いから帰ってきた時
アルクメネと結婚することに
なっていました。

